

観光施策の見直しについて

中野区の観光施策は、「新しい中野をつくる10か年計画(第2次)」に基づく「中野区都市観光ビジョン(平成24年度策定)」により進めてきたところである。しかしながら、明らかな成果を示すには至らなかったこと、また、社会状況が大きく変化していること、さらに、今年3月に「中野区基本構想」を改定するとともに、基本構想で目指す将来像の実現に向けて、新たに「中野区基本計画」を策定したことを踏まえ、観光施策を見直すこととする。

1 現状と課題、強み

(1) 観光を取り巻く社会状況の変化

- ・「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の終了
- ・新型コロナウイルス感染症の感染とその影響の長期化
- ・以上によるインバウンドの減少
- ・5Gをはじめとした通信・ICT環境の進展

(2) 中野区の観光に関する取組に係る課題

- ア 中野区の現観光施策・事業は、費用対効果が低い
- ・観光情報サイト(まるっと中野)の認知度が低い。
 - ・Nakano Free Wi-Fiの利用度・利用者満足度が低い。
 - ・認定観光資源があまり活用されていない。
 - ・フィルムコミッションの実施が少ない。
- イ 観光に携わる団体や人材が不足している

(3) 中野区の強み(観光が期待できる要素)

- ・中野駅周辺まちづくりが進展している。
- ・西武新宿線沿線連続立体交差事業が実施されているとともに、これに伴う再整備計画が策定されている。
- ・アニメをはじめとしたサブカルチャー、能楽などの伝統芸能、伝統工芸と幅広い文化・芸術活動が展開されている。
- ・さまざまな祭りや催しが実施されている(エイサー、チャランケ祭り、都立家政阿波踊り、中野駅前大盆踊り大会、にぎわいフェスタ、東北復興大祭典等)。
- ・中野ブロードウェイをはじめとした商店街や地域資源が点在している。
- ・中野駅周辺、東中野駅周辺、野方駅周辺には、飲食店が集積しており、個性的な店がある。
- ・明治大学、帝京平成大学、織田学園をはじめとした大学、各種・専修学校、学校が多い。
- ・中野区と区内事業者、また事業者同士の連携力が向上している(様々な取組が実施・進行中)。
- ・地縁団体(町会・自治会)に存在感と力がある。

(4) その他

- ・ワクチン接種の浸透と感染拡大の抑止に伴う消費行動の活性化が期待できる。
- ・国や都による地域・経済活性化施策が新設・拡大することが想定される。

2 観光施策見直しの基本的な考え方

- (1) これまでの取組を検証し、費用対効果の低いものは一旦止める。
- (2) 現在の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえる。
- (3) 一方、アフターコロナを見据える。
- (4) 以上を踏まえて、今後の観光施策を中野区と有識者、関係団体、区内事業者により検討する。
- (5) 新たに地域資源となるものや取組を中野区と事業者・団体が連携して開発・拡大する。

3 令和4年度に実施予定の見直し

(1) Nakano Free Wi-Fi

ア 検証結果

(ア) 観光の観点から

- ・観光用としては、利用されていない（区内在住者の利用がほとんど。利用言語も日本語が大多数）。
- ・利用者が減少している（令和2年度利用者数 524,659 人、認知度 45.0%）。
- ・利用者満足度（利用しやすさ）が低い（15.8%）。【主な理由】「つながりにくい」「通信速度が遅い」「登録が面倒」「1回の利用時間が短い」
- ・中野駅周辺などは、コンビニエンスストアやカフェなどの Free Wi-Fi がある。また、四季の森公園では、中野区観光協会が実施する Free Wi-Fi が利用できる。
- ・訪日外国人に対しては、国際ローミングやプリペイドSIMカードなどのサービスもあり、利用されている。

(イ) 防災の観点から

- ・災害時には、どの通信会社でも無料で利用できる公衆無線LAN「00000JAPAN」がある。
- ・避難所では、地域BWAが利用できる。

(ウ) 区有施設における利用の観点から

- ・中野区立全図書館で Free Wi-Fi が利用できる。
- ・その他区有施設においても、条件付で Free Wi-Fi が利用できるところがある。

(エ) 通信環境の変化の観点から

- ・中野区内で5Gの利用可能エリアが増えている。
- ・一方で、公衆Wi-Fiサービス「docomo Wi-Fi」が2022年2月に提供を終了する。
- ・中野駅周辺の再整備や通信技術の進展により、中野駅周辺の通信環境の向上が期待できる。

イ 見直し内容（今後の対応）

- ・「Nakano Free Wi-Fi」を廃止する。なお、廃止にあたっては、周知期間を2か月程度設ける（2022年5月末廃止の予定）。
- ・その一方で、中野区立図書館をはじめ、区有施設で Free Wi-Fi が利用できる場所や条件を中野区ホームページ等で広報する。

- ・中野四季の森公園で利用できる Free Wi-Fi（中野区観光協会運営）など、信頼性が担保された民間の Free Wi-Fi 情報もできる限り情報提供する。
- ・アフターコロナのインバウンドを見据えた通信環境の整備支援等については、中野駅周辺の再整備や今後の通信技術などの動向も踏まえつつ、令和4年度に検討会を設置し、今後の観光のあり方を検討する中で協議する。

(2) 中野区公式観光サイト（まるっと中野）

ア 検証結果

- ・当サイトの閲覧数は、令和2年度は前年度比で増加したが、年間閲覧数は、1,291,044（1日3,537）に留まっている（増要因は、感染症の拡大に伴い実施した「お持ち帰り&出前推進事業」の記事掲載による）。
- ・当サイトの認知度は低い。（認知度 26.3%）
- ・「まるっと中野」の SNS フォロワー数が少ない。また、インプレッション数が低い。
- ・区民レポーターによる掲載記事は好評である。

イ 見直し内容（今後の対応）

- ・中野区公式観光サイト（まるっと中野）の運営委託を廃止する。
- ・現観光サイト掲載情報を整理・移行する。
- ・現観光サイトに蓄積した観光に関する情報を整理し、PR効果の高い情報を優先して、中野区ホームページに情報を掲載する。
- ・また、一般財団法人モバイルスマートタウン推進財団が運営する多言語観光ポータルサイト「Guidoor(ガイドア)」に、インバウンドや国内旅行者向けの情報を掲載する。【無料】
- ・さらに、令和5年度に予定している中野区ホームページのリニューアル時、整理した情報を完全に移行する。
- ・一方、区民レポーターの活動を拡充し、同レポーターによる観光情報の発信を増やす。
- ・また、現観光サイトと連携した「まるっと中野」の SNS (Twitter、Facebook、Instagram) による情報発信は止め、今後の観光関連情報は、フォロワー数が多い中野区の SNS や「中野大好きナカノさん」の SNS によって発信する。

4 地域資源の開発・拡大

(1) 中野ミューラルプロジェクトの推進【令和4・5年度】

本年度、ナカノミライプロジェクトの一環として、区内事業者、中野駅、区立小学校と連携した壁画事業を、事業者の経費により協働で実施しているが（中野駅前北口広場及び鷺宮小学校体育館）、好評であり、さらに壁画制作を区内で展開してほしいとの声が区に寄せられている。

これらを踏まえ、「中野区基本計画」に示す「遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開する」「地域愛と人のつながりを広げる」に基づく取組として、本年度実施した中野ミューラルプロジェクトを進め、公募により区内の建築物に壁画を施す事業を実施する。

ア 事業原資

信金中央金庫の寄附事業「SCBふるさと応援団」から10,000千円の寄附を得て（令和3年度一般会計の寄附金として中野区の歳入とする）、これを当事業の財源とすることを想定している。なお、当寄附を受けられない場合は、当事業は実施しない。

イ 実施予定期間

令和4～5年度の2年間とする。(「SCBふるさと応援団」の定めによる)

ウ 実施体制

「SCBふるさと応援団」申請において、中野区の推薦団体となる西武信用金庫との協働事業とし、壁画の決定、ワークショップ運営、PRを協力して実施する。

また、壁画の方向性や施工する壁画を決定するため、学識経験者や区民を構成員とした審査会を設置する。

(2) 中野区認定観光資源の検証【令和4年度】

令和4年度に学識経験者などによる検討会を設置し、今後の観光のあり方を協議する中で、認定観光資源(123件)とその活用を検証し、内容を整理した上で取組の充実を図る。

また、その中で、中野ミューラルプロジェクトで完成した壁画など、文化・芸術をはじめとした新たな魅力あるものを観光資源として活用することも検討する。

(3) フィルムコミッションの再検討【令和3年度】

中野区のPRとイメージアップにつながる中野区での映像作品の制作に係る支援について、再検討の上調整し、実施の拡大を図る。

ア 基本的な考え方

単なる区内施設等の使用ではなく、中野区のPR、文化芸術振興や産業振興に寄与するものについて協力する。

イ 検討・調整事項

- ・協力基準の明確化(区内事業者、区内学校、区関係団体、区民を優先するなど)
- ・中野区と中野区観光協会などの民間団体での役割分担を明確にする。(例えば、区有施設、区関係施設の使用調整は中野区、それ以外は中野区観光協会や商店街振興組合などを案内)
- ・区有施設使用料徴収の基準明確化(例えば、中野区の事業(シティプロモーション・観光、文化芸術振興、産業振興)の一環と位置付けられるものは無料、そうでないものは使用料を徴収しないなど)

(4) ふるさと納税額増加に向けた運用の工夫【令和3・4年度】

・ふるさと納税の返礼品を増やすため、区内金融機関と連携して、区内事業者を対象とした「返礼品」の開発説明会・検討会を実施する。

・ふるさと納税利用拡大を図り、複数存在するポータルサイトごとの利用者や利点を踏まえ、中野区が利用するポータルサイトを拡大する。

・中野区として政策的観点からクラウドファンディングの活用が望ましいと判断するものは、ふるさと納税制度を活用したガバメントクラウドファンディングを今後も活用していく。

(5) なかのまちめぐり博覧会の検証等【令和4年度】

今年度、なかのまちめぐり博覧会実行委員会からの了承を得て、ナカノミライプロジェクトのワークショップ(中野区ほか区内9事業所参加)で企画・実施するテストイベントの結果を、同実行委員会と中野区で検証し、今後のなかのまちめぐり博覧会の実施の有無や、区の財政的支援のいか

たちでの区民参加型イベントの開催などを検討する。

5 今後の観光のあり方検討

「中野区基本計画」に基づき、次のとおり、今後の観光のあり方を検討する。

(1) 令和3年度

- ・中野区における「観光」の定義などをまちめぐり博覧会実行委員等と議論し、整理する。
- ・令和4年度に行う今後の観光のあり方検討会のメンバーを選出する。

(2) 令和4年度

- ・中野区のほか、学識経験者、関係団体、区内事業者による検討会を設置し、「中野区都市観光ビジョン」を検証する。
- ・その上で、アフターコロナにおける中野区の観光施策の方向性や取組案を検討する。
- ・以上を踏まえ、「中野区都市観光ビジョン」を廃止するとともに、今後の施策の方向性等を明らかにする。

6 スケジュール

令和4年3月下旬～5月	Nakano Free Wi-Fi 廃止等を周知
4月	現観光情報サイト（まるっと中野）掲載情報を中野区ホームページなどへ移行
5月末	Nakano Free Wi-Fi 廃止
5月～9月	今後の観光のあり方を検討（中野区、学識経験者等による検討会）
7月	今後の観光のあり方検討状況（中間まとめ）を議会報告
9月	今後の観光のあり方の方向性等を決定
10月	今後の観光のあり方の方向性等を議会報告